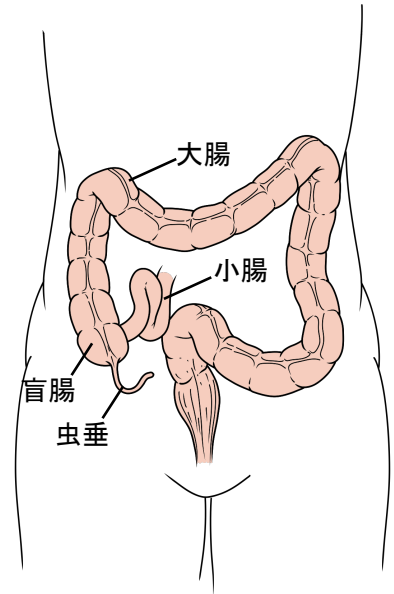




ちゅうすいえん こどもの虫垂炎

● 虫垂炎とは

- 虫垂は大腸の始まりである盲腸から伸びる小さい管状の突起です。この部位に炎症が起こった状態を虫垂炎といいます。
- 虫垂炎は、局所的なものから全身に影響が及ぶものまで幅広い状態があり、身体所見・血液検査・画像検査などを総合的に診断し、治療方法を選択する必要があります。



● 虫垂炎の重症度と治療

- 虫垂炎に対する治療は大きく分けて、抗菌薬による治療と手術治療があります。多くの場合、これらを組み合わせて治療を行います。

	単純性 虫垂に炎症があるが、可逆的な状態	複雑性 炎症により虫垂の組織に不可逆的な障害をきたした状態			
			限局性膿瘍形成	汎発性腹膜炎	
重症度					
治療	抗菌薬治療 繰り返す場合や 要望がある場合は手術	手術 + 抗菌薬治療	緊急手術 + 抗菌薬治療 または 抗菌薬治療 + 炎症消退後に手術	緊急手術 + 抗菌薬治療	

● 抗菌薬のみによる治療と手術治療の良い点・悪い点

	良い点	悪い点
抗菌薬のみによる治療	<ul style="list-style-type: none"> ・ 体に傷をつけない 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 再発の可能性がある ・ 治療に時間を要する事がある ・ 効果が不十分で、状態が悪化し、最終的に手術が必要となる事がある
手術治療	<ul style="list-style-type: none"> ・ 再発がない ・ 入院期間が予測しやすい 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 体に傷がつく ・ 手術に関連した合併症が起こり得る



こどもの虫垂炎に対する手術

● 手術の方法

- 腹腔鏡で手術を行うことが基本です。
- 傷をできるだけ小さくすることで体への負担を減らすことができるため、臍の中に切開をおき、ここから様々な器具を腹腔内に挿入することで手術を行います(図1)。
- しかし、虫垂炎の炎症が進むと腹腔内で臓器同士の癒着が起こり、一つの傷で手術をすることに困難や危険を伴うことがあります、その場合は傷を増やしたり(図2)、場合によっては開腹での手術(図3)への変更や、虫垂切除を中止せざるをえないことがあります。

図1: 一般的な腹腔鏡下手術

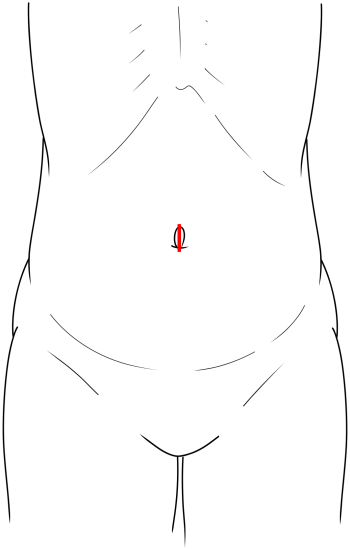


図2: 腹腔鏡で追加切開

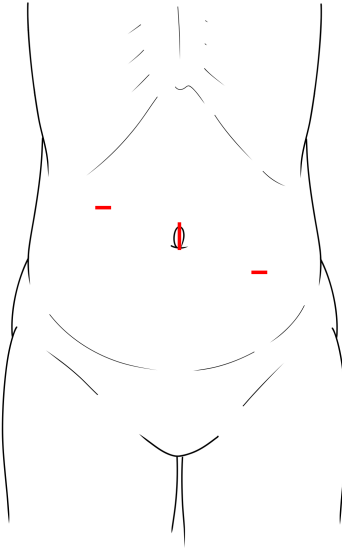
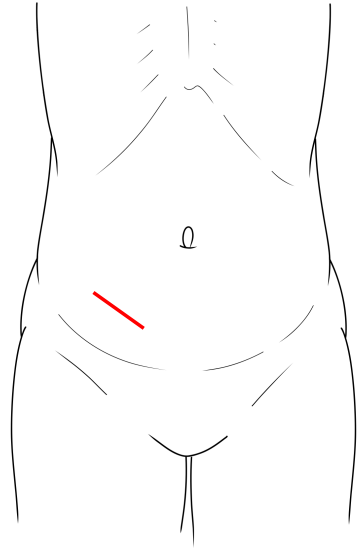


図3: 開腹手術



● 手術の合併症

- 一般的に報告されている合併症

術中: 出血・副損傷(消化管・肝臓・血管・膀胱・尿管・生殖器など) 等

術後: 発熱・疼痛・感染(創部・腹腔内)・腸閉塞(癒着性・麻痺性)・臍形態変化・創部醜形 等

当院では合併症が起こらないように、様々な対策を取りながら手術と周術期管理を行っていますが、合併症を避けられない場合があります、その際は追加の治療が必要となる場合があります。合併症は虫垂炎の重症度が増すほど多くなるため、速やかに診断・治療を行っていくことが重要です。

分からないことや不安なことは
どんどん質問してくださいね

